

## 『港区教育史』完結記念イベント

### 港区デジタルアーカイブ教育活用コンテスト 実施要項

#### 1 趣 旨

港区では、多くの方に港区の歴史に興味・関心を持っていただくため、デジタルアーカイブ「デジタル港区教育史」「デジタル版 港区のあゆみ」を公開しています。

教科指導におけるICTの活用は、児童・生徒の学習への興味・関心を高めるなどの効果が期待できることから、令和5年3月の『港区教育史』完結を記念するイベントとして、「港区デジタルアーカイブ教育活用コンテスト」を開催します。

港区デジタルアーカイブを活用した教材や授業プラン・授業実践報告書を募集し、優秀作品を表彰することで、港区デジタルアーカイブの教育活用を推進します。

#### 2 主 催

港区教育委員会

#### 3 後 援

デジタルアーカイブ学会

#### 4 部門・募集作品

##### (1) 教材部門

港区デジタルアーカイブの資料を活用した教材

##### (2) 授業プラン・実践報告部門

港区デジタルアーカイブの資料を活用した授業の学習指導案又は授業実践報告書

(授業のねらい、主な学習活動・内容、児童・生徒の反応・変化、成果と課題、使用教材など)

※(1)(2)ともに様式は自由。A4サイズのPDFを1～10枚程度。

#### 5 賞・副賞

【港区教育長賞】各部門1点 【優秀賞】各部門2点

入賞者に副賞として、『港区教育史』第11巻くらしと教育編(令和5年3月刊行予定)と区内共通商品券(スマイル商品券)[教育長賞3万円分、優秀賞1万円分]を進呈。

#### 6 応募資格

公私立の小・中学校、高等学校の教員、教職課程を履修する学生、学校司書、司書教諭、司書、学芸員 ※港区在住・在勤・在学以外の方も応募できます

#### 7 応募期間

令和4年12月1日(木)～令和5年1月24日(火)

#### 8 応募方法

応募用紙に必要事項を明記し、応募作品(PDF)と一緒にメールに添付してお送りください。

【メールの件名】「港区デジタルアーカイブ教育活用コンテスト応募」

【応募先メールアドレス】:minato07@city.minato.tokyo.jp

## 9 著作権等の扱い

- ・応募作品の著作権は応募者に帰属するものとします。なお、審査のために、主催者が必要最小限の範囲で複製する場合があります。
- ・応募作品のうち入賞作品については、CC-BY\*として公開することを応募者は了承することとします。  
\*CC-BY：原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示することを主な条件とし、改変はもちろん、営利目的での二次利用も許可される最も自由度の高いCCライセンス。
- ・作品中の著作物等（例：写真、文章やコメントなど）については、各資料の二次利用条件表示を参照し従ってください。
- ・応募された方の個人情報は、このコンテストの目的以外には使用いたしません。

## 10 審査

「応募用紙」及び「応募作品」を次の基準に基づいて、総合的に評価する。

### 【審査基準】

- ① 児童生徒の「問い」を引き出し、主体的な学びを支援する内容となっているか
- ② 地域資料の特性を活かしているか
- ③ デジタル資料の特性を活かしているか
- ④ 学習指導要領に紐づけられているか

## 11 入賞発表

令和5年3月頃に、区ホームページにて審査結果を発表。

## 12 表彰式

令和5年3月実施予定の『港区教育史』完結記念講演会において、表彰式を行う予定。

## 13 審査員

- ◎浦田 幹男（港区教育長）
  - 辻 直人（和光大学現代人間学部心理教育学科教授、『港区教育史』くらしと教育編 執筆者）
  - 大井 将生（東京大学大学院情報学環特任研究員、TRC-ADEAC 特任研究員）
  - 篠崎 玲子（港区教育委員会事務局学校教育部教育人事企画課教育指導担当課長）
  - 下橋 良平（港区教育委員会事務局学校教育部教育人事企画課統括指導主事）
- ※◎は審査委員長

## 14 その他

入賞した教材、学習指導案及び授業実践事例は、区ホームページ及び ADEAC（アデアック）\*で公開し、授業づくりの参考に供します。

\*港区デジタルアーカイブを公開しているデジタルアーカイブシステム

## 15 問合せ先

港区教育委員会事務局教育推進部教育長室教育史編さん担当

E-mail：minato07@city.minato.tokyo.jp